

# そこで兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によ って、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

## 2015(27)年 週 報

10月25日  
第3聖日  
第3426号

「キリストの体なる教会」

### 聖 言

それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるため  
であり、エペソ4:12

#### 礼拝の恵み 第二二章 第九節 礼拝の場所

著者は更に進んで「キリストは、本物の模型にすぎない、手で造った聖所にはいられたのではなく、天そのものにはいられたのです。そして、今、私たちのために神の御前に現れてくださるのです。」（ヘブル九ノ二四）と言っている。キリストはわれらの聖なる代表として天にはいられたばかりではない。そのすべての民のために「新しい生きた道」を開かれた。それによって神の民は、霊において、聖所にはいり、そこで神のみまえて自分たちの礼拝をささげることができるようになったのである。キリストの死に際して、人々を神のみまえから隔絶している神殿の幕が上から下まで真二つに裂けたことが、思い出されるであろう。このことによつて神は、御子の完全ないけにえが神のすべての聖なる要求に応じたこと、それから、今は、キリストを信じ、キリストが成し遂げたもうたみわざを信頼する。すべての人々に、神のみまえに出る恵みが与えられることとを、示したもうたのである。この事について、御言葉はきわめて明白である。「こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によつて、大胆にまことお聖所に入ることができるのです。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たしのためにこの新しいいける道を設けてくださったのです。」（ヘブル一〇ノ一九〜二〇）

（礼拝 ギブス著）

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年一〇月一八日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「福音に仕える奉仕者」

「こうして、キリストご自身が、ある人を使途、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。」(エペソ四ノ一一)

祈り

行楽の秋といわれるような、木々の紅葉が美しいときです。礼拝の民の一員のなかに侍らせいただく光栄をありがたく思います。先の見えない時代、教会も深刻です。しかし、教会のかしらは安倍さんでなく、わららを罪より救い出すために尊い御宝血を流してください。御こつた主イエス・キリストですから、恐れることはありません。御こつたばに従い、信仰をもって歩んで行きます。弱い私たちを支え、導いてください。

神様の賜物が沢山あります。その中で一番素晴らしいのは教会に仕える奉仕者を与えられることです。今、その奉仕者が不足しています。新しいこの椅子もある教会が閉鎖になり、廃却処分にあるのを運送代だけでいただきました。どれだけ立派な会堂があっても奉仕者がいないと、だめです。それで、高く上られ、低い所に下られたお方はすべてのものを満たすために賜物を与えてくださいました。それは物でなく、人です。使徒、預言者、伝道者、牧師、教師です。

それぞれの意味がありますが、共通点は御言葉を取り次ぐものです。私は高校を出て社会人になったとき、土曜日に家に帰り、日曜の夜に会社の寮に帰るのですが、なんともいえない気持ちになったことを思い出します。母も同じ気持ちであると思います。私とイエス様とは雲泥の差がありますが、父なる神もイエス様を地上に送られるときは辛かったと思います。しかし、人間を救うために絶対必要であったからです。まず、御子の御宝血により、罪より解放されること。そして、天に上られた後、この神の福音を語るものを残された

のです。それが使徒、預言者、・・・であります。教会の中に御言葉をかたらせないように狼が入り込んできます。教会を破壊する方法は御言葉を語らせないことです。

そして、イエス様の羊を飼い、養い、羊の為に命を捨てなければなりません。ペテロは3度もイエス様を知らないといつたので、羊を養う自信がありませんでした。しかし、復活の主はまず、ペテロに現れ、子羊と羊を飼い、養うように命じられました。草を食べさせるとは御言葉を日々与えることなのです。

教会は家庭の延長線にあり、各個の家庭は肉体的な糧を与えることを主体とし、共同体の家庭即ち、教会は霊の糧、御言葉を与えることが大切です。その奉仕者として使徒、預言者、牧師、教師を御つくりになられました。

二〇一五年一〇月二一日午後七時 祈禱会 山本牧師

「聖なる奉納地」

「あなたがたがその血を相続地として、くじで分けるとき、その地の聖なる区域を奉納地として主にささげなければならぬ。その長さは二万五千、その幅は一萬五万キュビト。その周囲の全域は聖なる地である。」(エゼキエル四五ノ一一)

45 新しいイスラエルでの奉納地

一、祭司、レビ人、町、及び君主のための土地 一〜八

二、君主の義務―公正さとささげ物 九〜一七

三、聖所のきよめ、過ぎ越しの祭り、仮庵の祭りについて 一八〜二五

ここで注目すべきことは、新しいイスラエルの地の分配を行う前に、主への奉納地を真つ先に取り上げるべきことである。各部族に分配してしまった後の残りの土地では駄目ということである。このことは私たちの献金の姿勢について大切なことを教えている。つまり収入を得たなら、その中から真つ先に、主にささげ

る分を取り分けるべきある。余った中から献金すればという考えは間違っている。そんな気持ち結局、献金できないだろう。パウロもコリントのクリスマスチャンに「私がそちらに行つてから献金を集めるようなことがないように、あなたがたはおのおの、いつも週の初めの日に、収入に応じて、手もとにそれをたくわえておきなさい」(コリ一六ノ二)。と注意している。家計の中で、主にささげるべき分を優先的に、かつ計画的に信仰とをもつて計上しようではないか。

国民を守ること。搾取しないこと。正しい量りを使用すること。それに仕える祭司たちの生活を優先すること。新約に適用する粉をこなす牛にくつこをかけてはならない。コリ一九ノ九

**一月教団、教会行事**

- 一日(日) 礼拝後役員会
- 八日(日) クリスマス献金約束日
- 一二日(木) 納骨堂掃除 午前一〇時
- 一六日(月) 説教塾 午前一一時 神港教会  
基督教連合会 午後一時 神戸聖ミカエル教会
- 二二日(土) NPO、あすへのバトン理事会 午後二時  
神戸フィラデルフィヤ教会
- 二三日(月) 教団創立六七周年 記念礼拝 午前一〇時  
午後は牧師会
- 二四日(火) 教会リバイバル兵庫協力会 午後一時  
神戸東部教会
- 二七日(金) 大日丘集会 午後五時

**一一月の召天会員**

- 二日 木元愛子姉 二七周年
- 三日 大藤武士兄 五〇周年

- 五日 水間哉則兄 七二周年
  - 六日 水間ハル姉 七〇周年
  - 九日 河田琢次兄 一九周年
  - 一〇日 網本艶の姉 四八周年
  - 一二日 濱田俊輔兄 五五周年
  - 二四日 白敷花寿姉 三六周年
- ※ 召天会員の遺族の方は納骨堂周辺の掃除をお願いします。

**今年のクリスマス予定**

- 一二月二〇日(日) 午前一一時 クリスマス賛美礼拝  
午後一時 クリスマスコンサート  
賛美 水野夏子さん 話し 山本稔
- 一二月二五日(金) 午後二時 大日丘子どもクリスマス

**戸別伝道開始**

戦後初めての安保法案改正ではないのですが、今までの外部からの助けを頼りにする伝道ではなく、信者一人が聖霊と火のバプテスマを体験して、伝道を開始しました。路傍伝道は広範囲の爆撃であり、敵の勢力を消耗させ、戸別は白兵線のようなもので悪魔を徹底的に壊滅するのです。とはいっても、道を歩きながら秋の野花を觀賞しながらの散歩半分の伝道です。やり終わった後の爽快さは格別です。